

染料の説明



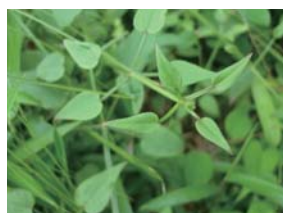
コガネバナ (bikal skullcap)

中国北部やシベリアで生育する紫の花を咲かせる多年草。その名の由来である黄金色の根を染料に使用しています。明礬媒染で赤みの黄色に、鉄媒染でグリーン色に染まります。



ログウッド (logwood)

メキシコから中南米に生育するマメ科の常緑低木で、その幹材を染料に使用しています。樹皮と葉には、さまざまな薬効成分も含まれます。明礬媒染で濃紫色に、鉄媒染で黒色に染まります。



茜 (madder)

アジアなど、温帯地方に広く生育する多年草。その根を乾燥させて染料としています。明礬媒染で鮮やかな朱色に、鉄媒染で紫茶色に染まります。



栗 (chestnut)

おもに日本や朝鮮半島などに育成する落葉性高木。その実を含む「いが」部分を染料に使用しています。明礬媒染で黄味のベージュに、鉄媒染でグレーに染まります。



コチニール (cochineal)

中南米であるサボテンに寄生するカイガラムシを染料にしています。着色料として食品にも使用される、鮮やかな赤色が特徴の染料です。明礬媒染でピンクに、鉄媒染で紫色に染まります。